

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	LEIF仙台上杉		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 9日		～ 令和 8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	71	(回答者数) 52
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 9日		～ 令和 8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間での共有	活動中に気になったことを含め、支援の振り返りを毎回行うことに加え、支援計画の共有など、職員間での共有機会が仕組み化されている。	業務効率の高めたツールの活用
2	事業所ルールの提示	活動時におけるルール提示が、利用児童にも分かりやすく伝えることができおり、ルールの浸透につながっている。	利用時の特性に合わせたルール理解の促しを継続して行っていく。
3	幅を広げた活動プログラムの設定	長期休み期間や祝日などにおいては、プログラムが固定化されないよう、スポーツ以外の取り組みも行うようにしている。	枠にとらわれずに、今後も様々な観点からの活動プログラム設計を進めていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者交流の機会	保護者交流のニーズについて、より深く検証する必要がある。	親子参加型のイベントなどの企画から、保護者同士の交流機会の創出を検討していく。
2	地域連携	学校や児童館との関わりや地域交流の場を事業所から生み出すことができていない。	地域イベントへの参加など、情報取得のアンテナを張り地域交流の場を増やしていく。
3	保護者向けの情報発信	情報共有ツールを用いた、情報発信内容を充実させていく。	情報共有ツールを使用した連絡体系は整っているため、それをさらに活かした情報発信に注力する。